



5 万分の 1 地質図幅の新刊

# 小 諸 KOMORO

5 万分の 1 地質図幅  
地域地質研究報告

著 者 河 内 晋 平 (北海道大学)  
荒 卷 重 雄 (東京大学)

発 行 工 業 技 術 院 地 質 調 査 所

取 扱 先 地 学 文 献 セ ン タ ー (0423) 62-5050

- 「蓼科山」・「八ガ岳」について発行された「小諸」図幅において 八ガ岳火山を含む図幅が終了した。著者の河内博士20数年の研究成果が結集した 貴重なシリーズである。東北隅には浅間火山の南西麓が位置を占め これも荒巻博士の浅間火山研究の一端が現われ 従来の地質図よりさらに詳細になった。
- 八ガ岳火山の基盤は 古生代の海瀬層群が小規模に分布し 中新世の中信層群 鮮新世-更新世の小諸層群などがある。

- 八ガ岳火山岩類は 古八ガ岳期と新八ガ岳期噴出物からなるが 古八ガ岳期はこの図幅で初めて記載されるものが多い。一方新八ガ岳期噴出物の方は 全て「蓼科山」図幅において記載したものの北方延長である。地質図には大きな火山体の山麓調査の苦心がうかがわれる。
- 巻末には模式地の25本の柱状図が載せられており 今後の調査または議論の基礎となるように配慮されている。
- 浅間火山岩類は 黒斑山の黒斑山中部層と塚原「泥流」堆積物 とくに塚原「泥流」堆積物がくわしい表現され その上の軽石流堆積物 および前掛山の追分火砕流堆積物が分布している。これら分布の訂正や堆積物をさらに細分した結果について とくにくわしく述べられている。
- 数年がかりの八ガ岳火山の地質図幅が無事終了したことは同慶のいたりであり 日本の火山地質図がこれにつづいて 数多く出版されることも期待するものである。

地 質 ニ ュ ー ス	第305号	1 月 号
	定 価 ￥ 500	千 実 費
昭和55年1月1日	編 集	発 行
	編 集	工 業 技 術 院 地 質 調 査 所
	発 行 人	林 久 雄
	発 行 所	株 式 会 社 実 業 公 報 社
		東 京 都 千 代 田 区 九 段 南 4 の 2 の 12
		Tel. (03) 265-0951 (代表)
		振 替 口 座 東 京 3 2 4 6 6
総発売元	大 蔵 省 印 刷 局	政 府 刊 行 物 仕 入 部
		東 京 都 港 区 赤 坂 葵 町 2
		Tel. (03) 5 8 2-4 8 6 6
印刷所	共 同 印 刷 株 式 会 社	